

各位

ダイドーグループホールディングス株式会社

アイデア満載！子どもたちの個性あふれる作品 第 3 回「ダイドーの工作自動販売機コンテスト」 審査結果を発表！

ダイドーグループホールディングス株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：高松 富也）は、第 3 回「ダイドーの工作自動販売機コンテスト」（以下「本コンテスト」）を開催し、応募作品の中から、グランプリをはじめとする受賞作品 6 点を決定しましたので、お知らせいたします。



ダイドーの工作自動販売機コンテスト審査員

当社では、子どもたちの創造力や個性を引き出し、社会性を育むことを目的に、2015 年から全国の子どもたちに無償で「ダイドーの工作自動販売機キット」を提供しています。2024 年からは、同キットを活用して制作した作品を表彰する「ダイドーの工作自動販売機コンテスト」を開催しています。

本コンテストの特別審査員長には、第 1 回開催時から 3 年連続でご協力いただいている“自動販売機マニア”の石田 健三郎氏を迎え、子どもたちの個性あふれる工作自動販売機を一つひとつ丁寧に審査していただきました。

その結果、ご応募いただいた 103 作品の中から、グランプリをはじめとする受賞作品 6 点※を決定いたしました。

※フリー部門は該当者なし。

【受賞作品】

・グランプリ：「楽しく熱中症対策」



<作品に込められた想い>

熱中症対策を楽しくできるように気温が高くなるほどお得に飲み物を買える自販機にしました。飲み終わった缶やペットボトルをリサイクルするとルーレットが回せます。自販機が環境にも人にも優しい物であるように想いを込めました。

<審査コメント>

気温が上がるほど飲み物の価格が安くなるという逆転の発想に、はっとさせられました。暑いときこそ気軽に飲んでほしいという、利用する人への思いやりが伝わってきました。熱中症対策への意識もしっかりと反映されており、社会課題に目を向けた工夫が光る作品でした。

・自動販売機マニア賞：「むかしばなしじどうはんばいき」



<作品に込められた想い>

日本昔話に出てくる食べ物や飲み物がジュースで味わえる自動販売機を作りました。一缶ごとに細かく描いた絵と、自動販売機に描いている各作品のお話の一場面が特にこだわったところです。

<審査コメント>

昔話と自動販売機を組み合わせた発想がとても新鮮で、見た瞬間に心を惹かれました。それぞれの商品に物語があり、どれを選ぼうかと想像する楽しさも感じられました。子どもならではの豊かな想像力と自由なアイデアが光る、素晴らしい作品でした。

・優秀賞：「なぞなぞ自動販売機」



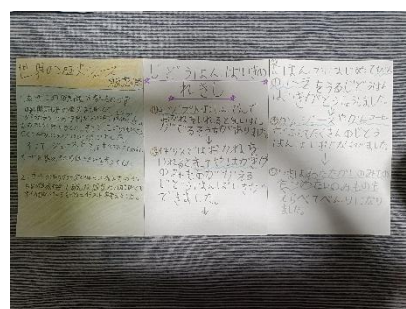
<作品に込められた想い>

なぞなぞの答えがジュースの味になる、買うまで味が分からない、わくわくする自動販売機を考えました。僕はなぞなぞを作るのが好きなので、こんな自動販売機があったら面白いなと思って作りました。

<審査コメント>

どんな味が分からず、購入して初めて答えが分かるわくわくする仕掛けが魅力的でした。思わず飲んでみたくなるアイデアに、子どもならではの自由な発想と創意工夫が感じられる作品でした。

・優秀賞：「世界の歴史ジュース販売機」



<作品に込められた想い>

作品のテーマを決める際、まずは家族で自販機の歴史を調べました。自販機の歴史を調べる「研究」、カードが出る「アイデア」、「キャラクター制作」、そして兄妹の「協力と工夫」が凝縮された、家族の思い出がいっぱいの作品です。

<審査コメント>

自動販売機への深い探究心と豊かな創造性に感心しました。世界の歴史を紐解く熱意が随所から伝わり、レアカードがもらえる仕組みも「使ってみたい」と思わせる魅力的な工夫でした。

ご兄妹で力を合わせて作り上げた、愛情あふれる素晴らしい作品でした。

・優秀賞：「宇宙自動販売機」



<作品に込められた想い>

宇宙で喉が渴いた時に呼ぶと、ロケット型に変身して飛んできてくれる自販機。一番のおすすめドリンクは宇宙ドリンク。飲むと宇宙でも息ができるようになったり、宇宙のごみをなくすなど、夢のある機能を詰め込みました。

<審査コメント>

ロケット型に変身して宇宙へ飛んでくるという自由な発想が魅力的で、「デブリジュースを飲むと宇宙ごみがなくなる」という願いが込められたストーリー性も印象的でした。廃材も活用しながら立体的に仕上げられており、細部までこだわり抜かれた作品でした。

・Instagram 投稿賞



<作品に込められた想い>

大好きなデコレーションの世界を自動販売機に表現。がんばって組み立てたあとは、デコデコ世界で一つアイドル自動販売機♡♪

<審査コメント>

カラフルな色使いや華やかな装飾が目を引き、細部まで丁寧に作り込まれた作品でした。作品と一緒に撮影した写真からも楽しさが伝わり、思わず目を留めたくなる素敵な投稿でした。

【審査員総評】



特別審査員長 自動販売機マニア 石田 健三郎氏

審査員を務めて3年目になりますが、毎年、子どもたちの新しいアイデアに出会えることを楽しみにしています。大人では思いつかないような自由な発想や、「こんな自動販売機があったらいいな」という夢のあるアイデアが数多く寄せられ、自動販売機の可能性を改めて感じる機会となりました。

これからも、皆さんの豊かな想像力や挑戦する気持ちを大切にしながら、社会貢献や新しいビジネスにつながる自動販売機が生まれることを期待しています。

【審査の様子】



なお、今回の受賞作品は、特設ウェブサイトや公式 Instagram などで紹介しています。詳しくは以下をご覧ください。

◆HP：特設ウェブサイト（<https://holdings.dydo.co.jp/dydocraft2026/>）

◆Instagram：【公式】ダイドールの工作自動販売機

（@dydocraft： <https://www.instagram.com/dydocraft/>）

本施策は、継続的な社会貢献活動の実現を目的として当社が設立した「地域コミュニティ貢献積立金」を活用し実施しています。

（ご参考）

地域コミュニティ貢献積立金を活用した取り組みについて

当社グループは、グループ理念のもと、地域コミュニティとのつながりを大切にしながら、地域の活性化に資する取り組みを行っています。こうした活動に「地域コミュニティ貢献積立金」を活用しています。

詳細は、ウェブサイトをご覧ください。

（<https://holdings.dydo.co.jp/sustainability/partners/activity/>）

**DyDo グループは、「ここからだに、おいしいものを。」をブランドメッセージに、高い品質に
いつもサプライズを添えて、「オンリーDyDo」のおいしさと健康をお客様にお届けします。**

*** 本報道資料に関するお問い合わせ先 ***

ダイドールグループホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部

TEL：06-6222-2621 E-mail：dydo-press@dydo.co.jp

*** 本件に関する一般の方からのお問い合わせ先 ***

ダイドードリンクお客様相談室 フリーダイヤル：0120-559-552